

突撃!「極意」伝承道場!!

図工^{美術}授業^{づくり}

青木 勇治先生(飯山市立城南中学校)

10月7日(金)に城南中学校美術室で行われた青木勇治先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。

本講座は、美術部の生徒と一緒に学ぶ講座で、2名の受講者は、美術の技法を学び、作品作りを通して自分の授業にどう取り入れられるかを考えました。

この日は4つの技法①ビー玉ローリング②にじみぼかし③ローラー型抜き④輪ゴムスプラッシュを、青木先生に教わりながら、配色や構図等を自分で考え、作品作りに取り組みました。

受講者は講座の時間を通して、授業構想や教材研究、教材づくり等、様々なおもしろい「図工教室、美術教室」のあり方を教わり、吸収していました。積極的に青木先生に質問したり、自分の取組を語ったりする姿もたくさん見られました。

紹介していただいた4つの技法は、青木先生自身が編み出したものや

テレビを参考に創り上げたもので、子どもたちが美術の作品作りを通して自己表現をする方法を示してくれるものでした。

青木先生の美術部の生徒との掛け合いもすばらしく、ユーモアの中に分かりやすく何をすべきか伝え、その子の作品のよさを認める声かけも受講者の先生方には勉強になったと思います。

また、「偶然にできる表現への驚きから、さらに工夫しようとする気持ちを刺激するアイテムで、図工・美術の楽しさや奥深さを体感して活用していただければ幸いです」と受講の先生方の熱心な取組に感想を述べています。

青木先生の道場は、「ICTも含め、子どもの発想力を刺激するアイテムを授業で活用することを考える」講座であり、受講者の感性を刺激する講座であります!

受講者の感想から

★絵具の様々な技法を教えていただけて良かったです。さっそくクラスでもぬらした和紙に絵の具をとばしてみました。とても好評で、「もっとやりたい!」「またやりたい!」という声も多々上がりました。子どもたちが意欲的に取り組める図工や、最新のタブレットを使ったものまで取り上げていただき、勉強になりました。また、図工の授業のことも相談に乗っていただけて、大変助かりました。

★今回の講座を受けて、自身もモダンアートを行ってみたいと考え、水と液でできるアートを授業で行ってみました。普段描くことに苦手意識を持つ生徒も身乗り出して次々と作品を作り、お気に入りの作品を選び出そうとする姿がありました。今後はただ楽しいで終わることなく、どのような資質能力が育つのか、生徒の学びと評価のあり方も踏まえながら授業設定をしていきたいと思いました。これからも、生徒が主体的に作ることを楽しめる新しい題材を展開できるように、学びつつけて行きたいと思います。

